

令和5年度 梅の里小学校スクールプラン

学校教育目標

自ら学び ともに たくましく生きる子の育成

めざす学校像

児童にとって
通うのが楽しみな学校
家庭にとって
通わせたい学校
教職員にとって
教育目標に向かって、全教職員が協働して創る学校

めざす児童像

すすんで考え **う**ごく子
めあてにおかかって **の**びる子
人やふるさとと つながる子

めざす教職員像

- ・ワークライフバランスの充実を図り、笑顔で児童に接する教職員
- ・自らの研鑽を積み、互いに学び合う教職員
- ・児童や保護者に寄り添う教職員

重点目標

【主体的な学び】

- ◎主体的で対話的な深い学びの推進
- 対話的な学びを支える環境づくり

【豊かな心】

- ◎お互いを認め他を大切に作る心の育成
- 仲間と協働し、よりよい集団づくりにつながる活動の推進

【たくましい心と体】

- ◎健康について自分で考え行動できる子の育成
- めあてに向かって取り組む活動を通してたくましい心と体を育む

【信頼される学校】

- ◎ふるさと学習の推進
- 家庭・地域と連携した学校づくり

具体的取組

- ・ねらいを明確にし、自ら取り組むことができる課題の工夫
- ・子ども同士がにつながる場の工夫
- ・既習事項を活用できる環境づくり

- ・お互いのよさを認め、それを伝え合う学校・学級づくり
- ・ふるさと班活動、委員会活動の評価の工夫

- ・自分の健康について考え、維持するための取組(生活リズムチェック、目の体操)
- ・目標をもった業間活動(体力向上)の取組

- ・地域との交流と情報交換を生かした教育活動の展開
- ・授業参観、学校行事、学校だより、HPIによる教育活動の公開
- ・外部機関の適切な協力を得た気がかりな児童への対応の充実

数値目標

- ・授業のめあてを意識し、進んで学習できる児童 80%以上
- ・対話で自分の考えや思いを伝えることが楽しい児童 80%以上
- ・既習事項を活用できるような環境づくりを心がけた教師 90%

- ・友だちのよさを見つけそれを伝えることができる児童 80%以上
- ・みんなで何かをすることが楽しい児童 90%以上
- ・ふるさと班活動が楽しい児童 90%以上(1~3年)
- ・みんなが気持ちよく生活できるように児童会活動に取り組む児童 90%以上(4~6年)

- ・早寝、早起き、朝ごはんを心がけることができた児童 80%以上
- ・目の健康管理について目標を決めて取り組む児童 80%以上
- ・業間活動(体力向上)の取組で、自分の立てた目標を達成した児童 90%以上

- ・地域の学習や体験活動を通して地域や社会への関心が高まった児童 80%以上
- ・地域に関する積極的な体験活動の取組をした教師 90%以上
- ・学校の活動や取組がよくわかると答える保護者 90%以上
- ・不登校児童 0人

<業務改善のための取組> ・下校時刻の見直し ・勤務時間シフト制の有効活用 ・グループウェアの活用